

平成 19 年 11 月分の総合解析評価結果

(総合解析結果)

秋らしい気候が短く、急に冷え込むようになった。もうすぐ師走であるので当然であるが、例年に比べると暖かいように思う今日このごろである。

A 型インフルエンザが防府、下関、山口、宇部で報告されている。下関の検査定点からは A ソ連型が分離された。例年より報告が早く、今後の推移に注意が必要である。全国的にみても今年は立ち上がり早く、A ソ連型の検出が目立っている。

感染性胃腸炎は全県的に増加傾向が明らかになったが、周南、岩国、下関で報告が多い。ロタウイルス陰性であり、大部分はノロウイルスと考えられる。

病院での集団発生も報告されているので注意が必要である。定点からの細菌性胃腸炎の報告は特に周南で多く、下関、山口、宇部が続いている。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は県下全域で増加傾向にあり、特に岩国で多い。

RS ウイルス感染症も増加傾向にあり、下関からの報告が突出している。

水痘も県下全域で増加しており、報告数は先月の約 3 倍である。

流行性耳下腺炎は長門からの報告が 2 / 3 と多く、流行がみられる。

定点からの報告で注目すべきはマイコプラズマ肺炎 (18 例) とアデノウイルス急性咽頭扁桃炎 (39 例) の報告が下関からされていることである。

日本脳炎が山口地区で県内数年ぶりに報告された (成人例、9 月末頃に罹患と推定される) ことが注目される。

[鈴木検査定点情報](11月分)

アデノウイルス上気道炎... 3 例	感染性胃腸炎... 79 例
ウイルス性嘔吐下痢症... 39 例	溶連菌感染症... 16 例
伝染性紅斑... 1 例	手足口病... 2 例
水痘... 5 例	RS ウイルス感染症... 12 例
百日咳... 1 例 (9 歳男児 抗体価より。6 歳と 8 ヶ月の弟に同症状を認め、家族感染と思われる)	
マイコプラズマ肺炎... 7 例	カンピロバクター腸炎... 3 例
サルモネラ (O9) 感染症... 2 例 (親子)	病原性大腸菌 (O74) 感染症... 1 例
病原性大腸菌 (O167) 感染症... 1 例 (5 歳男児 虫垂炎併発)	
感染性胃腸炎 (クレブシエラオキシトカ検出) ... 1 例	
病原性大腸菌 (O74) 感染症、カンピロバクター腸炎 重複感染... 1 例	
病原性大腸菌 (O74) 感染症、緑膿菌 重複感染... 1 例	

[徳山中央病院情報](10 / 21 ~ 11 / 20)

10 月から 11 月にかけては、例年の入院患者の最も少ない時期にあたっているようであった。

マイコプラズマ感染症... 2 例 (マイコプラズマ IgM 陽性例)

急性胃腸炎... 2 例

急性腸炎... 1 例 (腸管出血性大腸菌 O157、VT1、VT2 共に陽性、13 歳女児、HUS 発症せず)

新生児百日咳... 1 例 (生後 16 日の女児、むせて口唇色が悪くなるなどのことで紹介入院。入院後、百日咳様の咳が明らかになり、SPO₂ を下げるため保育器に収容。白血球数 21,000/mm³、リンパ球 60 %。CTX 投与で軽快。母親は分娩前後から激しい咳あり。母親の百日咳抗体 東浜株 80 倍、山口株 320 倍)

伝染性単核球症... 2 例 (8 歳男児、5 歳男児)

腸間膜リンパ節炎... 1 例 (15 歳男児)

亜急性壊死性リンパ節炎... 1 例 (12 歳男児)

川崎病... 1 例 (1 歳女児)

[山口日赤病院情報](10 / 15 ~ 11 / 14)

RS ウイルス感染症：少数発生はあるもののまだ流行の印象はなし (迅速検査陽性 1 例)。

マイコプラズマ肺炎：やや減少傾向となったが依然として多い。

インフルエンザ：本稿締め切り後の下旬になり A 型陽性者少数出現。

流行性耳下腺炎：少数あり。水痘：少数あり。

成人麻しん：当院 2 例あり。20 歳代女性。化膿性髄膜炎：1 ヶ月男児。

腸管出血性大腸菌感染症：O157 VT2 (+)、5 歳男児、HUS 発症なし。

[下関地域感染症サーベイランス](10 / 15 ~ 11 / 18)

病原性大腸菌 (腸管出血性大腸菌感染症以外のもの)

- ・ O1 ... 8 例 (2 例はサルモネラと、1 例はカンピロバクターと混合感染)
- ・ O18 ... 5 例
- ・ O6、O74、O91、O126、O157、O169 ... 各 1 例

[11 月の多報告順位](内数字は前回の順位)

- 1) 感染性胃腸炎
- 2) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎
- 3) 突発性発しん
- 4) 水痘
- 5) 手足口病
- 6) RS ウイルス感染症
- 7) 流行性耳下腺炎
- 8) インフルエンザ
- 9) ヘルパンギーナ
- 10) 流行性角結膜炎

1,2,3,4類及び5類(全数)感染症発生状況

区分	疾患名	42週 10/15- 10/21	43週 10/22- 10/28	44週 10/29-11/4	45週 11/5-11/11	46週 11/12- 11/18	平成19年 累計
1類感染症	エボラ出血熱						0
	クリミア・コンゴ出血熱						0
	痘そう						0
	南米出血熱						0
	ペスト						0
	マールブルグ病						0
	ラッサ熱						0
2類感染症	急性灰白髄炎						0
	結核	4	10	5	6	3	182
	ジフテリア						0
	重症呼吸器症候群						0
3類感染症	コレラ						0
	細菌性赤痢						3
	腸管出血性大腸菌感染症		2	2	1	1	45
	腸チフス					1	1
	パラチフス						0
4類感染症	E型肝炎						1
	ウエストナイル熱						0
	A型肝炎						1
	エキノコックス症						0
	黄熱						0
	オウム病						0
	オムスク出血熱						0
	回帰熱						0
	キャサナル森林病						0
	Q熱						0
	狂犬病						0
	コクシジオイデス症						0
	サル痘						0
	腎症候性出血熱						0
	西部ウマ脳炎						0
	ダニ媒介脳炎						0
	炭疽						0
	つつが虫病						0
	デング熱						1
	東部ウマ脳炎						0
	鳥インフルエンザ						0
	ニバウイルス感染症						0
	日本紅斑熱						0
	日本脳炎				1		1
	ハンタウイルス肺症候群						0
	Bウイルス病						0
	鼻疽						0
	ブルセラ症						0
	ベネズエラウマ脳炎						0
	ヘンドラウイルス感染症						0
	発しんチフス						0
	ポツリヌス症						0
	マラリア						0
野兔病						0	
ライム病						0	
リッサウイルス感染症						0	
リフトバレー熱						0	
類鼻疽						0	
レジオネラ症			1			7	
レプトスピラ症						0	
ロッキー山紅斑熱						0	
5類感染症	アメーバ赤痢	1					6
	ウイルス性肝炎						0
	急性脳炎					1	8
	クリプトスポリジウム症						0
	クロイツフェルト・ヤコブ病						2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1
	後天性免疫不全症候群			1			4
	ジアルジア症						0
	髄膜炎菌性髄膜炎						0
	先天性風しん症候群						0
	梅毒	1				1	8
	破傷風						0
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						0

平成19年 11月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 週別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	第42週	第43週	第44週	第45週	第46週	合計
	10/15-10/21	10/22-10/28	10/29-11/4	11/5-11/11	11/12-11/18	
カンピロバクター腸炎	19	6	22	17	24	88
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	1	0	0	1
病原大腸菌腸炎 VT(-)	24	21	13	19	18	95
サルモネラ腸炎	5	4	0	2	4	15
ウイルス性胃腸炎 ロタウイルス(+)	0	0	0	1	0	1
ウイルス性胃腸炎 アデノウイルス(+)	0	0	0	1	4	5
ウイルス性胃腸炎 ロタウイルス(-)	11	4	5	5	19	44
マイコプラズマ肺炎	4	4	3	8	7	26
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	6	12	15	22	19	74
クラミジア肺炎	0	0	0	1	0	1

臨床診断例

	第42週	第43週	第44週	第45週	第46週	合計
	10/15-10/21	10/22-10/28	10/29-11/4	11/5-11/11	11/12-11/18	
ヘルペス歯肉口内炎	2	2	5	2	5	16
川崎病	2	0	1	0	0	3

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

平成19年 11月

小児科定点からの病原体・抗体価確認例等 圏域別集計表

病原体あるいは抗体価確認例(迅速診断キット含む)

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	(玖珂)	(大島)	(下松・ 光・熊毛)		(吉南・阿 東)	(小野田・ 厚狭・美 祢)			(豊浦)	
カンピロバクター腸炎	3	6	36	0	8	8	0	5	22	88
病原大腸菌腸炎 VT(+)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
病原大腸菌腸炎 VT(-)	8	1	42	3	17	7	0	0	17	95
サルモネラ腸炎	1	1	6	0	1	3	0	0	3	15
ウイルス性胃腸炎 ロタウイルス(+)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ウイルス性胃腸炎 アデノウイルス(+)	0	0	0	1	0	0	4	0	0	5
ウイルス性胃腸炎 ロタウイルス(-)	0	0	0	0	0	10	0	3	31	44
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	1	0	5	2	0	18	26
アデノウイルス 急性咽頭扁桃炎	1	1	12	2	3	6	3	7	39	74
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

臨床診断例

	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	萩	長門	下関	計
	(玖珂)	(大島)	(下松・ 光・熊毛)		(吉南・阿 東)	(小野田・ 厚狭・美 祢)			(豊浦)	
ヘルペス歯肉口内炎	1	4	3	0	2	3	2	0	1	16
川崎病	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3

*マイコプラズマ肺炎・クラミジア肺炎の報告数に、基幹定点報告分は含んでおりません。

【最新情報までの週間推移】

第42週～第46週 (10/15-11/18)

インフルエンザ	(0 - 0 - 2 - 11 - 41)	例年より早い立ち上がり。特に防府、山口、下関で多い。大多数が迅速診断検査キットでA型陽性例。今後の動向に要注意。
RSウイルス感染症	(10 - 10 - 21 - 10 - 11)	周南、宇部、下関で報告増加。冬季に増加が認められるため要注意。
咽頭結膜熱	(7 - 2 - 6 - 1 - 8)	引き続き報告減少。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	(72 - 102 - 90 - 106 - 110)	県下全域で増勢顕著。特に萩、岩国で多い。冬季に増加が認められるため要注意。
感染性胃腸炎	(237 - 237 - 299 - 396 - 547)	県下全域で増勢顕著。特に岩国、周南、下関で増加が目立つ。冬季に増加が認められるため要注意。
水痘	(25 - 21 - 37 - 39 - 57)	県下全域で増加。特に萩、山口、防府で多い。冬季に増加が認められるため要注意。
手足口病	(22 - 10 - 9 - 15 - 33)	報告減少。
伝染性紅斑	(4 - 0 - 4 - 3 - 0)	報告減少。散発発生程度。
突発性発しん	= (55 - 55 - 47 - 37 - 40)	例月の平均疾患、引き続き同程度の報告。
百日咳	(0 - 2 - 0 - 0 - 0)	第43週 宇部2例。
風しん	= (0 - 0 - 0 - 0 - 0)	今月報告なし。
ヘルパンギーナ	(8 - 4 - 6 - 3 - 8)	引き続き報告減少。
麻しん	= (0 - 0 - 0 - 0 - 0)	今月報告なし。
流行性耳下腺炎	(12 - 7 - 13 - 12 - 16)	報告増加。引き続き長門で多い。
急性出血性結膜炎	= (0 - 0 - 0 - 0 - 0)	今月報告なし。
流行性角結膜炎	(0 - 5 - 6 - 7 - 9)	山口9例最多。次いで柳井7例、周南、宇部各5例、防府1例。
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	= (0 - 0 - 0 - 1 - 1)	第45週 山口1例。第46週 岩国1例。
無菌性髄膜炎	(0 - 0 - 0 - 1 - 0)	第45週 長門1例。
マイコプラズマ肺炎	(2 - 0 - 0 - 3 - 3)	岩国、山口各3例、周南、宇部各1例。
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	= (0 - 0 - 0 - 0 - 0)	今月報告なし。
成人麻しん	(0 - 0 - 0 - 1 - 0)	第45週 山口1例。

平成19年 11月分週別集計表

	第42週	第43週	第44週	第45週	第46週	合計
	10/15-10/21	10/22-10/28	10/29-11/4	11/5-11/11	11/12-11/18	
インフルエンザ	0	0	2	11	41	54
RSウイルス感染症	10	10	21	10	11	62
咽頭結膜熱	7	2	6	1	8	24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	102	90	106	110	480
感染性胃腸炎	237	237	299	396	547	1,716
水痘	25	21	37	39	57	179
手足口病	22	10	9	15	33	89
伝染性紅斑	4	0	4	3	0	11
突発性発しん	55	55	47	37	40	234
百日咳	0	2	0	0	0	2
風しん	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	8	4	6	3	8	29
麻疹	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	12	7	13	12	16	60
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	5	6	7	9	27
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	0	0	0	1	1	2
無菌性髄膜炎	0	0	0	1	0	1
マイコプラズマ肺炎	2	0	0	3	3	8
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0
成人麻疹	0	0	0	1	0	1







